

鹿沼公園の拠点化と駅前道路の整備

宇宙と知の森“淵野辺プラザ”

日本大学
理工学部
まちづくり工学科
3年1班

現状分析・課題

- ①図書館とJAXAに不十分な点がある
- ②施設どうしの関わりが薄い



①大野北公民館



②市立図書館



③交通公園



④テニスコート



⑤JAXA

図書館

- ・読書以外の機能が乏しい
- ・休憩スペースが欲しい
- ・駅から近いが動線が分かりにくい

● 鹿沼公園
● JAXA
● JAXAまでの最短ルート



所要時間
20分

JAXA

- ・駅から遠く、サインや動線が確立されていない
- ・JAXA主催の年1回のイベントで、住民や市外からの集客が期待できない
- ・まちとの関りが少ない

施設名	利用者数
市立図書館	54.6万人
テニスコート	2.7月万人
交通公園	7.8万人
大野北公民館	11.6万人

参考写真
<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/>

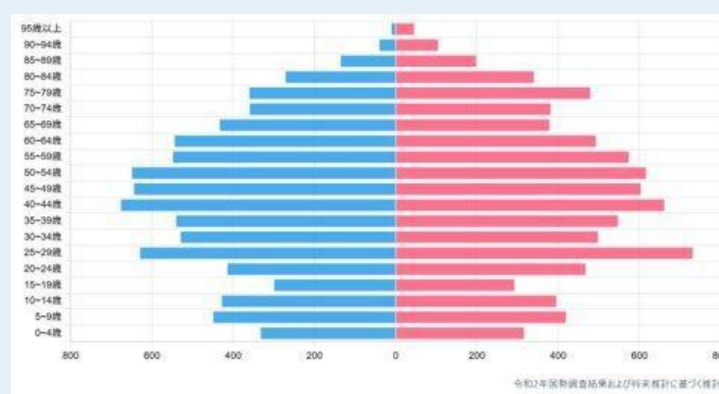
【既存計画】

「淵野辺駅南口周辺のまちづくりプラン」

- ・現在南口エリアに点在する公共施設を集約する
- ・図書館機能を核とした複合施設を整備して利便性の高い地域交流拠点へ

【子供支援制度】

子育て支援に力を入れている！



JAXAを盛り上げて
子供世代を大切に

住民の飯田さん

計画 方針



現在進行中の既存計画「淵野辺駅南口周辺のまちづくりプラン」に、私たちの新たなプロジェクトを提案し新たな賑わいを創出

提案内容

➤ 3つの要素を軸に2つの提案

① 複合施設

体験

学び

- ・宇宙関連コーナーを設置
- ・定期的にイベントを行う
- ・子どもたちの探求心を育成
- ・地域ブランドとして発信

宇宙関連のイベント
宇宙関連の展示

JAXAによる宇宙学習
宇宙に関するブース

体験

学び

誘導

② 駅前通り

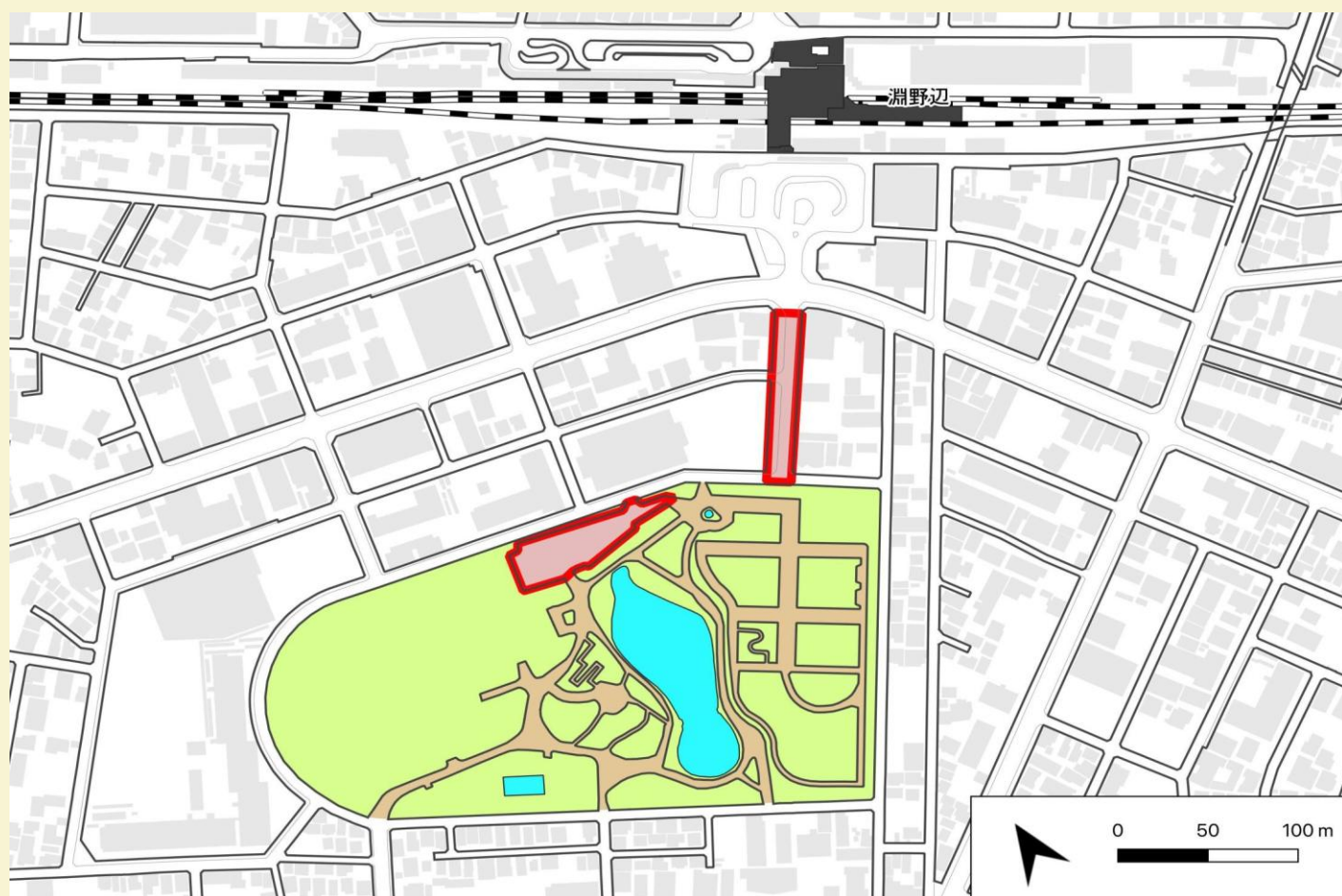
体験

誘導

- ・鹿沼公園への誘導動線
- ・各ポイントに惑星名や解説パネルを設置し、学べる道路
- ・施設で学んだことを帰り道に体験できる
- ・ゲートを作りわかりやすく

太陽系オブジェの設置
スタンプラリーの設置

○対象敷地



【太陽系オブジェクトの詳細】

- ・全長100mの歩道に太陽系を模す
- ・スタートに太陽を設置し、太陽に近い順の惑星を置いていき、海王星が鹿沼公園でゴールとなる

○イベント内容

打ち上げなどに乗じてイベントを行う

⇒JAXAのロケット打ち上げをパブリックビューイングで視聴出来るようにして職員の人に解説をしてもらう

○見込まれる相乗効果

宇宙という無限の可能性が子供たちの無限の可能性を広げてくれる！
まちに独自性を出し、誇り、愛着を与え地域への定着意識を！

○事業計画

